



新潟市民病院
Niigata City General Hospital

臨床研修 GUIDE



Be a top doctor!

研修 の 特 色

豊富な臨床経験を積むことができる

100万人を診療圏にもち、地域の基幹病院として、重症・専門・救急を中心に質の高い医療を実践しています。

Generalist と Specialist の視点をもつ医師になれる

救急科や総合診療科や小児科などの研修では Generalist の視点を、各診療科で専門性の高い医療を実践することで Specialist の視点を持つことができます。

救急に強い医師になれる

救急患者搬入数は県内随一であり、重症度の高い症例も多いことが特徴です。救急専門医が常駐しており、スタンダードな救急診療を身につけることができます。

ロールモデルを見つけることができる

医師としての成長でロールモデルを見つけることは非常に大切です。自身の役割やキャリアの方向性の助けになるでしょう。そんな魅力的な指導医がたくさんいます。

充実した環境で研修を行える

研修医の机に1台ずつ電子カルテ配備、医局のWi-Fi環境、文献検索常時可能（Clinical Key・Up To Date・Medical Finderなど）、レストランや焼きたてのベーカリーなど、環境が整っているため研修はより充実します。

そのまま専門研修へ進むことができる

内科・総合診療科・外科・小児科・整形外科・麻酔科・救急科は、卒後3年目以降当院での専門研修に進むことができます。症例は豊富であり、最短での専門医取得が可能です。



研修プログラム

▶ 研修スケジュール

1年目			2年目	
内科系 36週	外科系 8週	産科・婦人科 4週	精神科 4週	自由選択 26週
救急（救急科） 8週	救急（麻酔科） 4週	小児科 4週	地域医療 8週	

内科系	【必修】 ①血液内科 + 内分泌・代謝内科 ②腎臓・リウマチ科 + 総合診療内科 ③消化器内科 ④循環器内科 ⑤呼吸器内科 ⑥脳神経内科を全て6週ずつローテート
外科系	【必修】 ①消化器外科 ②脳神経外科 ③整形外科 ④心臓血管外科の中から一科
精神科	【必修】 ①新潟大学医学総合病院 ②河渡病院 ③新潟信愛病院 ④白根緑ヶ丘病院の中から選択
地域医療	【必修】 ①新潟県立坂町病院 ②新潟県立津川病院 ③佐渡市立両津病院 ④あがの市民病院の中から選択（外来研修4週を含む）
自由選択	【選択】 38科全ての科と精神科・地域医療から選択可能

研修医から聞いた

研修プログラムのここがポイント！



01 広く網羅的な内科研修！

医師として大切な
基本的臨床能力を修得できる！



02 外科と救急研修が8週間！

医師として大切な
基本的手技を修得できる！

03 全研修期間を通して救急初期診療を

救命救急センターでの本当の救急とは??
→ [次ページへ](#)

学べる！



04 選択期間は全ての科から 選択できる！

病理診断科、緩和ケア内科、臨床検査科
などもあり選択の幅が広い！



▶ 実際のローテーション例

	1年目												2年目																							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月												
S研修医	循環器内科	呼吸器内科	脳神経内科	血液内科 内分泌・代謝内科	腎臓・リウマチ科 総合診療内科	麻酔科	産科	消化器内科	小児科	心臓血管外科	精神科	地域医療	救急科	循環器内科	内分泌・ 代謝内科	脳神経内科	腎臓・リウマチ科	呼吸器	麻酔科	整形外科	脳神経内科	血液内科 内分泌・代謝内科	腎臓・リウマチ科 総合診療内科	小児科	消化器 内科	循環器内科	精神科	消化器外科	救急科	地域医療	産科	放射線 診断科	消化器内科	病理 診断科	消化器外科	
I研修医	脳神経内科	消化器外科	救急科	麻酔科	産科	血液内科 内分泌・代謝内科	腎臓・リウマチ科 総合診療内科	消化器 内科	小児科	精神科	循環器内科	呼吸器内科	地域医療	消化器 外科	産科	整形外科	心臓血管 外科	麻酔科	脳神経内科	消化器外科	救急科	麻酔科	産科	血液内科 内分泌・代謝内科	腎臓・リウマチ科 総合診療内科	消化器 内科	小児科	精神科	循環器内科	呼吸器内科	地域医療	消化器 外科	産科	整形外科	心臓血管 外科	麻酔科
M研修医	脳神経内科	消化器外科	救急科	麻酔科	産科	血液内科 内分泌・代謝内科	腎臓・リウマチ科 総合診療内科	消化器 内科	小児科	精神科	循環器内科	呼吸器内科	地域医療	消化器 外科	産科	整形外科	心臓血管 外科	麻酔科	脳神経内科	消化器外科	救急科	麻酔科	産科	血液内科 内分泌・代謝内科	腎臓・リウマチ科 総合診療内科	消化器 内科	小児科	精神科	循環器内科	呼吸器内科	地域医療	消化器 外科	産科	整形外科	心臓血管 外科	麻酔科

本当の救急とは??



救急当直での学び

全研修期間を通じて、月約4回の当直業務を行います。1年目は準夜帯（17:15～24:00）、2年目は深夜帯（0:00～8:30）を担当します。

当直では、研修医が主体的に問診・診察を行い、臨床推論をすすめます。救急医のサポートのもと、検査・治療を決定します。common disease から重症度・緊急度の高い疾患まで、内因性疾患・外傷・中毒・心肺停止など様々な病態を経験します。

また、縫合・腰椎穿刺・気管挿管・胸腔ドレナージ・シーネ固定など多彩な手技や救急ならではの薬の使い方を実践の中で学びます。

救急医療は専門科との連携が必須であるため、手術・緊急処置・専門科コンサルトの適応やタイミングをしっかりと学びます。

以上のプロセスを何度も反復し、救急医からリアルタイムにフィードバックを受け、そして自らを振り返る。これにより、確かな知識に基づくスタンダードな、本当の救急初期対応の実践ができるようになるのです。



必修科目・分野

内科

ウィリアム・オスラーの「医学は患者と共に始まり、患者と共にあり、患者と共に終わる」という信念に基づき、ベッドサイドでの学びを重要視しています。内科としての基本的な診療技術や態度はもちろんのこと、さらにそれぞれの専門科における手技や治療も修得します。内科的思考は、たとえどの科に進むとしても非常に重要となります。

外科

基本的な外科手技の修得、術前術後の周術期の全身管理の実践が目標です。周術期では、手術侵襲に対する生体反応をベッドサイドで観察し、対応を学びます。手術室では、切開・縫合・結紮といった基本的な外科手技を何度も反復し、しっかりと身につけてもらいます。緊急患者も多く、緊急手術の適応をリアルタイムに学ぶことができます。

麻酔科

術前に回診を行い、適切な麻酔法の検討を行うことから始まります。麻酔法は、全身麻酔・脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔・末梢神経ブロックなど複数の方法から最善の麻酔法を選択します。術中の麻酔管理のなかで、気管挿管・人工呼吸器管理・動脈ライン確保・中心静脈路確保など多くの手技も修得できます。

救急科

全国的にみても大規模な救命救急センターを有し、救急科を中心に全診療科が協力して救急医療を実践しています。救急科研修や当直を通じて、急性期疾患・外傷・中毒など様々な救急患者の診療を救急専門医とともに学びます。24時間常駐する救急医による指導のもと、多様な病態の初期治療、重症患者の治療などの修得を目指します。救急外来で、いかに最初の1時間を制するか、その思考を学びます。

小児科

Common disease から重症度や専門性の高い病態まで幅広い小児診療を経験することができます。小児科指導医は、呼吸器・アレルギー・循環器・腎臓・内分泌・神経・救急など様々な分野の専門性を subspeciality として持ち、ときに general な視点からときに専門的な視点からの指導を受けることができます。一方で、総合周産期母子センターでもあるため、新生児医療も経験できます。

産科・婦人科

緊急母体搬送や帝王切開も含め、分娩実績が多く、ハイリスク妊娠を中心に周産期管理を学ぶことができます。母体・胎児集中治療室（MFICU）と新生児医療センター（NICU）を有していることも特徴です。助産師ら多職種との連携はとて重要であり、チーム医療に参加することで多くの学びを得ることができます。婦人科は予定手術だけでなく、急性腹症症例も多いことから、急性期の診療や手術など幅広く経験値を積むことができます。

精神科

当院精神科では身体合併症を有する精神疾患症例を経験することができます。そのなかには、せん妄や認知症といった病棟でよく遭遇する病態も含まれ、精神科ならではの視点で診療や治療を学べます。また、連携する病院では、精神保健・医療を外来・入院診療に参加しながら修得します。

地域医療

連携する病院で、その地域の特性に即した医療を経験します。一般外来では common disease や慢性期病態の管理を学び、在宅医療も含めた地域医療研修を通じて、医療・介護・保健・福祉の連携を肌で感じてもらいます。病院と地域社会とのつながりをリアルに学ぶことは、非常に大切な経験となるでしょう。地域ごとにそれぞれ魅力がたくさんあり、充実した研修になることは間違いありません。

研修医の声

INTERVIEW | 01

富田 裕
(秋田大学卒)

市民病院を選んだ決め手は？

ズバリ大きいです。県内では大学病院について2番目に大きいので、科も医師も多く症例が豊富に集まって来ます。

病院選びのポイント・決め手

大きさ、給料、志望科、教育体制等を総合的に考えることが大切です。後悔ないように妥協せず調べてください。

実際に研修してみて良かったところ

カルテが一人に一台、これ本当に最高です。仕事の時短になる上に、カルテベースの勉強が凄く捗ります。

ロールモデルに出会えましたか？

出会えました。一人と言わず、3、4人くらいいます。それぞれのいい所を全て吸収しようと日々研修しています。



Daily Schedule

脳神経内科

- 8:00- 8:30 ○ カルテ確認、病棟回診
- 8:30- 9:30 ○ 脳卒中科・脳外科合同カンファ、新入院患者・急変患者プレゼン
- 9:30-10:00 ○ チームカンファレンス
- 10:00-12:00 ○ カルテ記載、病棟業務(処方・点滴オーダーなど)、急患対応
- 12:00-12:30 ○ 昼食
- 12:30-13:30 ○ 病棟業務
- 13:30-15:00 ○ 脳血管撮影や経食道心エコー
- 15:00-16:30 ○ カルテ記載、病棟業務、調べ物や抄読会の準備
- 16:30-17:00 ○ 病棟回診
- 17:00-19:00 ○ 一日の振り返り、調べ物
- 19:00 ○ 帰宅

希望日は帰宅後も急患来院時にcallあり

INTERVIEW | 02

加藤 爾
(東京大学卒)



Daily Schedule

消化器外科

- 8:30 ○ チームミーティング(カルテ診)
- 8:30-9:00 ○ 指導医と病棟業務
- 9:00 ○ 病棟回診
- 9:30 ○ 手術(鼠径ヘルニア手術 執刀!)
- 13:00 ○ 昼食
- 13:40 ○ 手術
- 16:00 ○ 病棟チーム回診
- 17:00 ○ カンファレンス準備・サマリ作成
- 18:30 ○ 帰宅

医師になろうと決めたまっかけは？

自らが虫垂炎で入院し治療していただいたことがあり、人を助けることのできる医者になりたいと考えていました。

研修で印象に残っていることは？

総合診療内科にて、IgG4 関連疾患や POEMS 症候群などの多彩な疾患群に診断の過程から関わることができました。

学生のうちにやっておいたらいいことは？

新鮮な刺激のある環境に、ある程度まとまった時間をかけて身を置き楽しむこと。旅行など。

学生へのメッセージ

指導体制が整い、研修医同士で高めあえる当院での初期研修をおすすめします。

INTERVIEW | 03

高澤 遥子
(新潟大学卒)

市民病院を選んだ決め手は？

将来どの科にいても救急対応は必須となると思い、幅広く standard な救急対応が学べる病院を実習や見学を通して選びました。新潟県内で3次救急を担う病院であり、内科と救急科の研修が充実していると感じた点が決め手です。

実際に研修してみてよかったところ

指導医からのフィードバックがしっかりしており、またやる気のある研修医が多く、切磋琢磨しあえる環境だと感じました。

学生へのメッセージ

楽しい仲間、頼りがいのある先生方、充実した研修プログラムと設備を備えた新潟市民病院は研修先としてオススメです！ぜひ一度見学に来てください！



Daily Schedule

救急科

- 8:00- 8:30 ○ 担当患者さんのカルテチェック・診療
- 8:30- 9:15 ○ ERで上級医と急患対応
- 9:15-10:30 ○ カンファレンス、抄読会
- 10:30-12:00 ○ ERで上級医と急患対応
- 12:00-12:30 ○ 昼食
- 12:30-17:15 ○ ERで上級医と急患対応
- 17:15-17:30 ○ 当直の研修医に引き継ぎ
- 17:30-19:00 ○ 担当患者さんの診療、その日の症例の振り返り
- 19:30 ○ 帰宅

INTRODUCTION

私たちの病院を紹介します

1階中央ロビー



明るく開放的です

外来待合スペース



たくさんの患者さんがいらっしやいます



外来ロビー

アクアリウムは待ち時間の癒しです

CT室



水族館のような装飾。院内に3台あります

手術室



13部屋あり、年間7,000件を超える手術数でフル稼働しています



急患外来



救急車搬送用の部屋。診察に必要なものは一通り揃っています



職員食堂



60種類以上のメニューと日替わりランチで毎日飽きません

売店



ワンコインの日替わりランチBOXは大盛でもお値段変わらず!



医局



席は1・2年混合なのでいつでも相談できます

電子カルテ



1人1台あるのでとても便利!



CVCIハンズオンセミナー



シミュレーターを使用した模擬演習の機会も充実しています

テジュパンテ先生の教育回診



厳選された症例を通して、総合診療的アプローチを学びます

研修医研究発表会



2年目の終わりに今までの研究成果を発表します



語り合う



総勢24名の仲間たちとの出会いは、貴重な一生の宝物です

図書室



専用HPを備えた2万5千点の医学資料があり、24時間院内外で利用可能です



ベーカリー



甘い香りに誘われて…。お昼やおやつには焼きたてパンを♪



JUMP



ベストショット!さらなる飛躍を…!

先輩からのメッセージ



堂前 圭太郎

大阪警察病院
心臓血管外科 医長

やりたいことをとことんやりましょう！

私は新潟市民病院での初期研修を終了して、国立循環器病センター、大阪大学で心臓外科医としての修練を経て、現在は大阪警察病院で心臓外科医として勤務しています。大学を卒業した時は自分が大阪で心臓外科医として独り立ちしているとは夢にも思いませんでした。非常に辛く厳しい競争を乗り越えて現在に至ったのは、やはり新潟市民病院での研修医時代があったからだと思います。

研修医時代は、やりたいこと（外科系研修）しか興味をもてませんでした。研修担当の先生方は暖かく見守って下さり、ほとんどを外科研修に費やし、外科専門医取得に十分な症例を経験させてもらいました。また外科系以外の様々な分野の研修を通して基本的な手技や考え方、精神力を身につけることができました。同期のうち半数近くが外科医を目指しており、互いに切磋琢磨しながら、過ごしたことも大きかったと思います。

大きな野望を抱き、困難に立ち向かいたいと思う医学生の方皆さんには、充実した施設と教育、研修体制が整った新潟市民病院での初期研修をぜひとも存分に味わっていただきたいと思います。



萩谷 健一

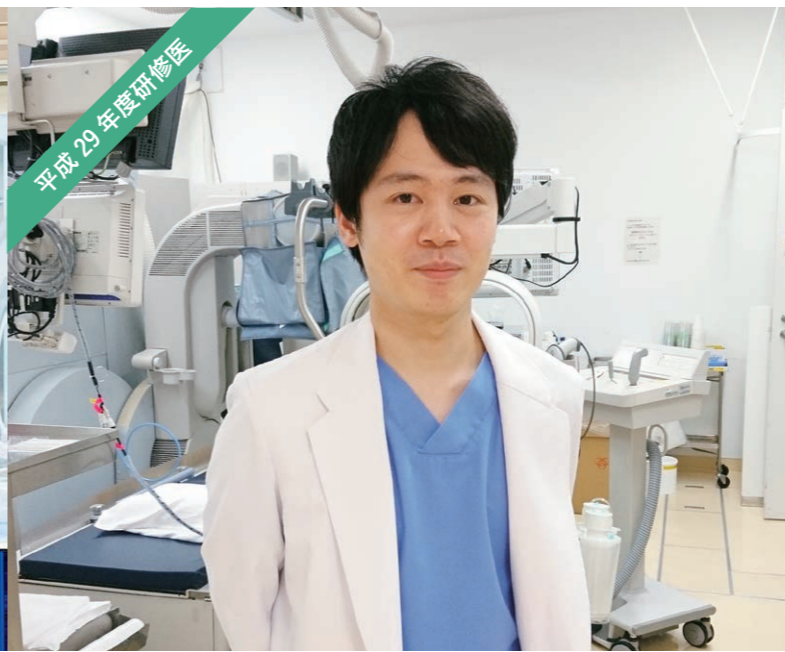
公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院
循環器内科 医長

充実した指導体制のなかで、多くのことを学ぶことができる！

私は学生の頃から救急医療に興味があったので、初期研修の場として救急・集中治療に力を入れている新潟市民病院を選びました。実際に研修をしてみると、外傷や脳卒中、急性心血管疾患などの重症疾患から common diseases まで非常に多くの症例を経験することができました。新潟市民病院には病院全体で研修医をサポートする体制が出来ていて、困った時は教育熱心な指導医の先生方や先輩達、コメディカルスタッフに支えて頂くことができました。患者さんの診療をしていくなかでつらい時もありましたが、そのようなときも厳しくも愛のある指導を頂き、人間的にも成長することができました。新潟市民病院を離れて10年以上になりますが、今でも自分の医師としての礎は新潟市民病院で過ごした充実した日々であることに変わりありません。

このような魅力がいっぱい新潟市民病院へ、皆さんが集うことを願っています！

プロフェッショナルを目指す先輩からのメッセージ



木村 究

内科専攻医

1年間で確実な成長を実感

当院には県内の様々な地域から多くの症例が集まってくるため、common disease から稀な症例まで、非常に豊富な症例を経験することができます。また、ほぼ全ての診療科が存在し、教育熱心な指導医も多いため、各科で連携しながら診療にあたるすることができます。このような環境で臨床研修を行う日々の中で、更なる成長・スキルアップができるものと確信し、当院の専門研修プログラムを選びました。

内科専攻医になると、各科の専門医として診療にあたります。消化器内科では入院管理はもちろん、外来・夜間拘束番に加え、上部・下部内視鏡、腹部エコーなどの手技も1人で行うことになります。常に指導医の先生方にバックアップしていただきながら、日々多くを学んでいます。この1年間で、消化器内科医として確実に成長できている実感があります。

皆さんもぜひ一度、見学に来てください。



仁村 明日香

救急科専攻医

私が救急医を目指すなんて…

…そうなんです。学生の頃には想像もしていなかった選択をして、今救急医を目指して頑張っています。

2年目に救急科を回ったとき、臓器や疾患、年齢も性別も関係なくあらゆる患者さんの診療ができることに魅力を感じ、「どんな患者さんが来ても対応できるようになりたい」という思いが芽生えました。初期対応から入院・ICU管理まで幅広く学び、医師として成長できると確信しました。自分の能力に自信がなかった私を、「必ず立派な救急医に育てるから」と、救急科の先生方が背中を押してくださいました。

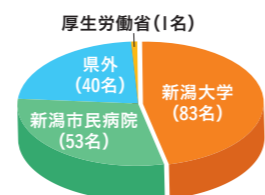
規模の大きな総合病院でありながら、科と科の垣根が低く、他科の先生方に相談しやすい雰囲気があります。科を越えて一緒に仕事ができる、本当に良い病院です。新潟市民病院でとにも切磋琢磨しましょう！

臨床研修修了後は…

引き続き当院での専門研修プログラムや大学での研修など、種々の選択が可能です。同期の研修医とのつながりは一生の財産となります。



臨床研修修了後の進路 (平成16年度～令和元年度)



専門研修プログラム

～プロフェッショナルへの道標～

当院では、内科・外科・整形外科・救急科・総合診療科・麻酔科・小児科の専門研修プログラムを準備しており2年間の臨床研修後にそのまま進むことができます。

詳しくはコチラから



ごあいさつ

新潟市民病院で 医師としてのスタートを



院長
大谷 哲也

新潟市民病院の理念である「患者とともにある全人的医療」はウィリアム・オスラー博士の「医学は患者とともに始まり、患者とともにあり、患者とともに終わる」の言葉から引用され制定されました。急速な高齢化が進む現代では、さらにその言葉は輝きを増しています。当院で医師としてのスタートを切る研修医は、病気を患者側から全人的に診るトレーニングを受けることで、将来社会に必要不可欠な医師として成長できると確信しています。

昭和52年から開始された臨床研修は、現在までで300名以上が巣立っており、多数の施設で活躍しています。是非、当院で医師としての研鑽を開始してください。訪問をお待ちしています。

全人的医療を学べる当院へ

臨床研修の2年間は、医師としての在り方が決まる最も重要な期間です。この間に多くの症例を経験し、基本的な手技を習得するだけでなく、当院の理念である「患者とともにある全人的な医療」を学ぶことが、その後の医師人生において大切な足場となります。

新潟市民病院は、救急救命センター、循環器病・脳卒中センターを有し、人口100万人の新潟医療圏における救急、専門、重症患者を担う中核病院です。各診療科には、複数の専門医・指導医が揃い、充実した指導体制があります。また、common diseasesを含め豊富な症例を経験することができます。当院で充実した2年間の研修ができることをお約束いたします。



副院長
五十嵐 修一
臨床研修管理委員長

医師としてしっかりとした基礎をつくろう

アヒルは生まれて初めて見る動くものを親として認識し、その後を追いかけます。臨床研修は医師として最初の2年間であり、医師生活40年のうちの1/20に過ぎません。しかし、この2年間で得た知識・経験・能力はその後の医師生活に大きな影響を与えます。

当院の臨床研修の目標は、多数で多彩な症例を経験することで「特定の科に偏らない基本的臨床能力を身につける」「自己研鑽習慣を身につける」ことです。知識を教えてもらうだけでなく、学習方法、解決能力も獲得できます。さらに、当院では多くの科でそのまま専門研修に進むことができるため、最短での専門医取得が可能となっています。

将来、どの診療科に進んでも役立つ、本物の臨床能力を身につけてください。

教育
研修
室長
桑原 史郎



病院概要

- ▶ウィリアム・オスラーによる「患者とともにある全人的医療」を理念とし、新潟市と周辺地域100万人を診療圏にもつ、急性期医療の基幹病院です。
- ▶新潟市民病院は1979年より、厚生省指定臨床研修病院として卒後臨床研修を行い、1997年からは、スーパーローテーションの研修方式に完全移行しました。また、2004年の卒後臨床研修必修化に際して、単独型臨床研修病院として臨床研修プログラムを全面改訂しました。
- ▶2006年からは、管理型臨床研修病院として、2009年からは、基幹型臨床研修病院として、臨床研修を行っています。
- ▶2007年には全国で9番目に、卒後臨床研修評価機構(JCEP)から臨床研修病院に認定されました。以降、継続して評価認定されており、全国レベルでの質の高い研修を行っています。

DATA R2年1月~12月

病床数	676床(感染症8床を含む)	ヘリコプター搬入回数	46回/年
医師数	210名(研修医24名を含む)	ドクターカー出動回数	671回/年
外来患者数	951.4名/日	手術数	6,452件/年
在院日数(一般病棟)	11.6日	剖検数	18件/年
救急車搬入台数	5,113台/年		

診療科(38科)

血液内科、内分泌・代謝内科、腎臓・リウマチ科、呼吸器内科、腫瘍内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、脳神経外科、小児科、放射線診断科・放射線治療科、新生児内科、総合診療内科、感染症内科、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、眼科、産科、婦人科、皮膚科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、形成外科、病理診断科、検査診断科、精神科、脳卒中科、救急科、緩和ケア内科、ペインクリニック外科

学会指定施設

- | | | |
|-------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------|
| 日本内科学会認定医制度教育病院 | 日本病院総合診療医学会認定施設 | ・乳房再建用インプラント(一次二期再建、二次再建)実施施設 |
| 日本血液学会認定血液研修施設 | 日本緩和医療学会認定研修施設 | ・乳房再建用エキスパンダー(一次再建、二次再建)実施施設 |
| 日本輸血・細胞治療学会I&A認定施設 | 日本小児科学会専門医研修施設 | 日本皮膚科学会認定専門医研修施設 |
| 日本輸血・細胞治療学会認定輸血看護師制度指定研修施設 | 日本小児循環器学会認定小児循環器専門医研修施設 | 日本泌尿器科学会専門医教育施設 |
| 日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設 | 日本内分泌学会認定教育施設(小児科) | 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設 |
| 日本糖尿病学会認定教育施設 | 日本外科学会外科専門医制度修練施設 | 日本産科婦人科学会専門研修プログラム連携施設 |
| 日本甲状腺学会認定専門医施設 | 日本消化器外科学会専門医修練施設 | 日本女性医学学会専門医制度認定研修施設 |
| 日本腎臓学会認定研修施設 | 日本大腸肛門病学会認定施設 | 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設 |
| 日本透析医学会専門医教育関連施設 | 日本がん治療認定医機構認定研修施設 | 日本眼科学会専門医制度研修施設 |
| 日本リウマチ学会教育施設 | 日本食道学会全国登録認定施設 | 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設 |
| 日本高血圧学会専門医認定研修施設 | 日本肝臓学会認定肝臓外科高度技能専門医修練施設B | 日本内分泌外科学会専門医制度関連施設 |
| 日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設 | 日本食道学会食道外科専門医認定施設 | 日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関 |
| 日本神経学会専門医制度教育施設 | 日本消化器外科学会連携施設(対象術式:腹腔鏡下肝切除術) | オートブシー・イメージング学会AI撮影参加施設B |
| 日本頭痛学会認定教育施設 | 日本乳癌学会認定施設 | 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 |
| 日本呼吸器学会認定施設 | 三学会構成心臓血管外科専門医認定機構修練施設(基幹施設) | 日本ペインクリニック学会認定指定研修施設 |
| 日本臨床腫瘍学会認定研修施設 | 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設 | 心臓血管麻酔専門医認定施設 |
| 日本消化器病学会専門医認定施設 | ステントグラフト実施施設(腹部・胸部) | 日本感染症学会認定研修施設 |
| 日本消化器内視鏡学会専門医指導施設 | 日本整形外科学会専門医制度研修施設 | 日本病理学会研修認定病院B |
| 日本肝臓学会認定施設 | 日本手外科学会認定研修施設 | 日本臨床細胞学会認定施設 |
| 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 | 脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設 | 日本病理精度保証機構外部精度評価認定施設 |
| 日本心臓血管インターベンション治療学会認定研修施設 | 日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設 | 染色サーベイ(ER・HER2)・フォトサーベイ(ER・HER2) |
| 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設 | 日本脳神経外科学会専門医訓練施設 | 日本救急医学会救急科専門医指定施設 |
| 日本不整脈心電学会 経皮的カテーテル心筋焼灼術実施施設 | 日本脳卒中学会認定研修教育病院 | 日本救急医学会指導医指定施設 |
| IMPELLA補助循環ポンプカテーテル実施施設 | 日本脳神経血管内治療学会専門医研修施設 | 日本呼吸療法医学会専門医研修施設 |
| 浅大動脈ステントグラフト実施施設 | 日本脳卒中学会一次脳卒中センター(PSC)認定 | 日本集中治療医学会専門医研修施設 |
| 日本静脈経腸栄養学会NST(栄養サポートチーム)稼働施設 | 日本小児外科学会専門医認定施設 | 日本周産期・新生児医学会周産期新生児専門医認定施設(基幹施設) |
| 日本栄養療法推進協議会認定NST(栄養サポートチーム)稼働施設 | 日本形成外科学会認定施設 | 日本周産期・新生児医学会周産期母子・胎児専門医認定研修施設(基幹施設) |
| 日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム(NST)専門療法士認定教育施設 | 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定 | |

病院見学を随時受け付けています

希望する日時・診療科等お知らせください

▶詳しくはHPをご覧ください



<https://www.hosp.niigata.niigata.jp/>

▶教育研修室



kensyu@hosp.niigata.niigata.jp

HPはコチラ



Access

- ▶JR新潟駅南口よりバス
「新潟市民病院」下車すぐ
- ▶JR新潟駅南口より車で約15分
- ▶日本海東北、磐越、北陸各自動車道
新潟中央ICより車で約2分
- ▶新潟空港より車で約30分



駐車場の
ご案内



新潟市民病院

〒950-1197 新潟市中央区鐘木 463 番地 7
TEL 025-281-5151 FAX 025-281-5187
<https://www.hosp.niigata.niigata.jp/>